



ほっかい

水とふれあい通信

◇発行 者／岩見沢市6条西7丁目 北 海 土 地 改 良 区

TEL (0126) 22-2400 FAX (0126) 22-8012

URLアドレス <http://www.midorinet-hokkai.jp>

◇印 刷／弘文社印刷株式会社 岩見沢市 5 条東11丁目



『観測史上最深積雪となる 208cm を記録した岩見沢市内』

主 な 内 容

平成 24 年通常総代会開催	2
平成 24 年度事業計画	3
平成 24 年度予算等の概要	4 ～ 9
第 16 期総代名簿	10 ～ 11
各種表彰・人事通信ほか	12 ～ 16
国営農地再編着手ほか	17 ～ 19
用水路転落事故防止について	20

改良区の現況
地区面積 33,328ha
組合員数 2,506 人
平成23年4月対比 △72人
平成 24 年 4 月 1 日現在

第 84 号

平成二十四年 通常総代会開催

平成二十四年通常総代会が、三月二十一日岩見沢平安閣において総代一〇三名（定数一〇六名）の出席を得て開催され、議長に笹木昭博氏（岩見沢市・第四区）、議事録記名人に萬孝志氏（奈井江町・第一区）、倉内淳氏（岩見沢市・第三区）を各々選出し、報告三件、議案四十三件について慎重審議の結果、原案通り承認決定されました。

開会の挨拶



北海道改良区

理事長

眞野 弘

平成二十四年通常総代会の開催でございます。一言ご挨拶を申し上げます。

朝の来ない夜はないというように、よもや春の来ない冬はないだろうと、そんな思いをした程この冬も少しく心配もしたところでございますが、今になってやっと春遠からずという感じのこの頃でございます。総代の皆さまには忙しい予定を返上してのご出席、心から感謝を申し上げます。また今日の総代会には、札幌開発建設部、岩見沢農業事務所の川口所長さんのご出席も叶っております。誠にありがとうございました。

三月に入ってこの十一日は悪夢のような東日本の大震災、そして大津波、原発事故から丁度一年でありました。改めて二万人近い方々のご冥福と、今もなお、物心両面で苦しい毎日を過ごされている被災

県民に、畏敬の念を感じるところでございます。心からの復旧、復興と心の安寧を祈る次第であります。さてこの頃の世の中狂った事が多くありますが、この岩見沢近辺の大雪、大雨、そして緩みのない連続寒波、まさに狂った状況でございます。交通機関や道路、建物、毎日の生活まで押しつぶされそうだったところでありますが、農業関連の被害も、玉ねぎのハウスに続いて水稲用ハウスの骨組まで押しつぶされるという近代未聞の被害でございます。日に日にその被害確認が大きくなってまいりますので、今年の春の作付どんなことになるのかなと、大きく心配をするところであります。また雪解け遅れによる小麦の被害も含めて市町村各農協とも豪雪対策会議を立ち上げて被害の最小限度食い止めを初め、資材の万全に御苦労願っているところであります。また当区としても、早速豪雪対策幹部会議を立ち上げて揚水機場をはじめ、基幹水利施設の被害確認とその対処法を徹底しているところでございます。また融雪遅れによる始水期に不備の無い様、北海幹線の主要部分の排雪、融雪剤による融雪促進等万全を期しているところでございます。

また今日の総代の皆さんのご意見、そして明日の分水区分長、支線長さんの会議の中でも末端施設等の被害等状況をしっかりと聞きをして今後も対処をしてまいりたいと考えている次第でございます。

次に現下のTPP交渉等土地改良予算でございます。日本の伝統文化、美しい農村は守らねばならん、食糧の国内自給は基本的国策、国家戦略の一つだと言いつても、まともだったたりなかったり、その時々で言い方も変わるが、やることも全く違う。美しい農村を守ると言っておいて、その農村基盤の予算は

半分にしたまま。国内自給は戦略の一つだと言いがらTPP協議を前にした二月六日には全品目を自由化交渉の対象にするのだと、いとも簡単にその方針を明記しているという事でございます。不安心配を超えて危険さえ感ずる現政権でございます。

また加えて我が国の食と農林漁業の再生の為の基本方針、行動計画なる物で二十三年度四次補正で非公共による農業体質強化基盤整備促進事業が創設されました。本来土地改良は土地改良法に基づいて公共事業として七年、十年あるいは二十年と、中長期計画によって取り進めるべき国作り事業でございます。足らざるところは地方の責任とばかり一括交付金化したり、一年限りの補正で、それも非公共で辻褄合わせをしたり、全く道理のない国家予算編成でございますが、四次補正の北海道枠三〇〇億円の約四二％、事業費にして二三八億円でございますが、これは足らざる道営事業として予算配分するということにしておりますので少し安堵しているところでございます。

冒頭に申し上げましたハウス被害、雪解けを待たずしてのその撤去作業等、春作付の大幅遅れ、大幅変更を少しでも食い止める為に既にその対応に組合員の皆さん全力を挙げて頂いております。これからの陽気冬の狂った分取り返す様、順調に推移することを祈る思いであります。

お米はもちろんのこと冷湿害による特に畑作の不振、不名誉が続いております。少しく安堵できる満足の秋となるように祈念をする次第であります。

国難の多い昨今、国家社会の安心安全、安寧を願う総代皆さまのご健勝とご活躍を御祈念申し上げます。

本日の総代会、報告案件が三件、議案事項が四十三件と多くの案件をお願いしております。宜しくご審議賜りますようお願いを申し上げます。宜しくとさせていただきます。

平成24年度 事業計画の概要

本年度、事業計画の柱として次の3項目を重点事項と位置付け、精力的に推進して参ります。

第一 農業農村整備事業の計画的推進

(一) 国営事業

本年度、かんがい排水事業継続の北海道、道央用水二期地区、同三期地区の推進に万全を期してまいります。

また、農地再編整備事業新規着手の美唄茶志内地区、及び継続調査の美唄地区の早期着手に向け推進する。

(二) 道営事業

本年度「食糧供給基盤強化特別対策事業（通称…第4次パワーアップ事業、平成23年度から27年までの5年間実施）」のもと、最大限の負担軽減を図り、新規（調査8地区・着工4地区）を含め、37地区を実施する。

第二 地域資源の適正な保全管理

(一) 地域との連携強化

水と土を守り育ててきたこれまでの役

割に加え、ふるさとの歴史や文化の継承、環境・景観の形成など多面的な機能を果たしている豊かな農村環境と貴重な資源を、次の世代に引き継いでいくためにも、その有効活用と適切な保全管理に、更なる地域との連携と協力をいただき進めてまいります。

- ・国営造成施設管理体制整備促進事業
- ・農地・水保全管理支払交付金
- ・21世紀土地改良区創造運動

第三 第四次中期計画の推進

第四次中期計画（平成23年から平成27年の5か年計画）の着実かつ円滑な推進により、組織体制の強化と早期効果発現に努めます。

(一) 支線組合助成工事の拡充

（長寿命化に向けた高率助成制度）

下記参照

(二) 水土里情報システム等の調査研究

（農用地・施設・水利情報等）

支線組合助成工事補助率改正

（第四次中期計画答申に基づく改正）

区分	補助率		附記
	現行	改正	
一般	50%	50%	1件10万円以上の改修
災害復旧事業関係	82.5%	82.5%	災害復旧事業認定の場合
主要作行物関係	75%	75%	道路、鉄道、河川の横断工など
特任関係	75%	75%	地盤の特性など不可避免的な改修工事（10年を経過しない工事）
長寿命化関係		75%	当該施設が長寿命化工事を施工した場合（新規追加）

平成 24 年度予算の概要

総 額 4,265,500 千円とする！

平成 24 年度 一般会計予算書

収 入 (単位：千円)			支 出 (単位：千円)		
款	予 算 額	説 明	款	予 算 額	説 明
賦 課 金	2,122,210	経常賦課金 1,220,012 特別賦課金 867,637 事業賦課金 34,561	一 般 管 理 費	703,479	役職員人件費 594,840 需用費 46,510 備品費 29,006 営繕費 10,460 会議費 4,318 使用料手数料 16,544 選挙費 1 交際費 1,800
使 用 料	11,416	契約使用料 4,035 許可使用料 7,381	営 造 物 管 理 費	877,656	頭首工管理費 17,350 貯水池管理費 17,976 溝路管理費 118,849 揚水機管理費 389,723 交付金・助成金 52,996 適正化事業費 185,700 非補助事業費 1 抛 outcomes 64,340 管理諸費 30,721
補 助 金 及び助成金	535,976	補助金 54,103 助成金 318,154 交付金 163,719	土 地 改 良 事 業 費	143,764	団体営事業費 98,370 補償工事費 1 受託事業費 45,393
財 産 収 入	9,477	財産運用収入 (預金利子、配当金、財産貸付等)	諸 税 及 び 負 担 金	772,444	諸税 6,760 道営分担金 758,585 その他事業負担金 7,099
受 託 及 び 補 償 金	45,394	受託金 45,393 補償金 1	繰 出 金	267,965	財産繰出金 3,274 積立金繰出金 127,819 特定積立繰出金 136,872
繰 入 金	353,688	基本財産繰入金 10,256 積立金繰入金 343,432	償 還 金	1,452,101	農林漁業資金償還金 461,274 平準化資金償還金 675,396 繰上償還金 315,431
借 入 金	817,427	農林漁業資金借入 719,370 長期借入金 98,057	諸 支 出 金	40,089	財産取得費 208 厚生管理費 2,086 一時借入金利子 3,000 事業推進費 2,000 団体負担金 4,732 諸費 28,063
諸 収 入	289,910	諸収入	換 地 費	2	(科目存置)
換 地 費	2	(科目存置)	予 備 費	8,000	
繰 越 金	80,000	前年度繰越金	支 出 合 計	4,265,500	
収入合計	4,265,500				

平成 23 年度 第 3 回 補正予算可決

一般会計 1,500 千円減額！

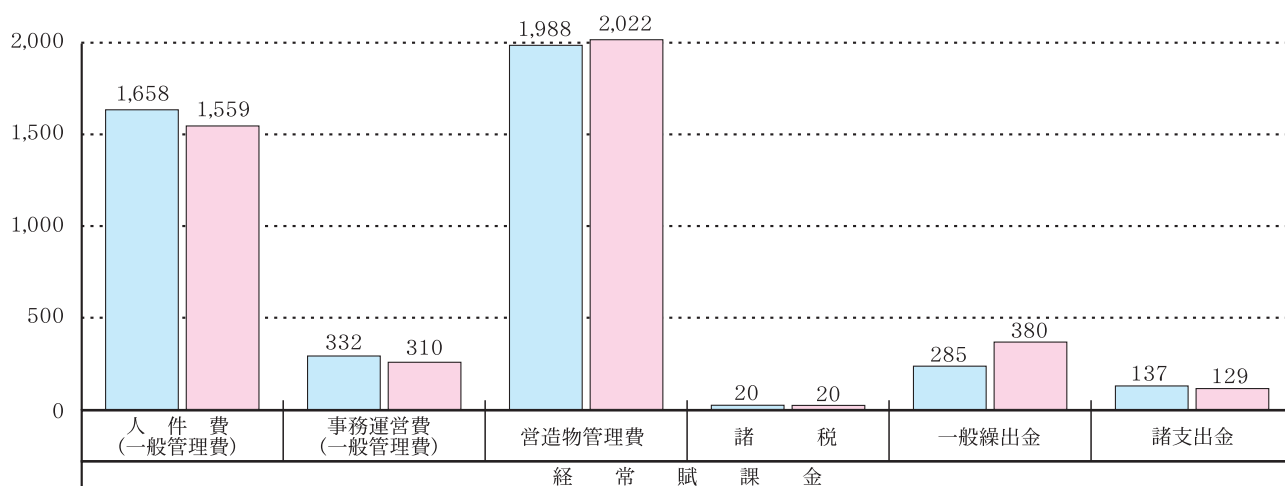
平成 24 年通常総代会において、各種事業の変更等を主たる要因として 1,500 千円 減額し
総額 4,433,000 千円とする第 3 回補正予算を可決した。

平成 24 年度の賦課金について

経常賦課金（地積割）4,420 円で決定！

①平成 23・24 年度 10a 当たり経常賦課金内訳（単位：円）

1,658	332	1,988	442	4,420	平成23年度
人件費	事務運営費	営造物管理費	その他		
1,559	310	2,022	529	4,420	平成24年度



②特別賦課金

地区名	償還賦課金（地積割分）	償還賦課金（個人分）
北 海	10a 当り 2,000 円	旧改良区毎の取扱いを継承する。
中 村	10a 当り 1,000 円	
三 笠	10a 当り 2,000 円（前田、小野、鈴木の沢区域）	
岩 見 沢	10a 当り 4,000 円	
南 岩 見 沢	10a 当り 300 円	
栗 沢	10a 当り 2,000 円	
奈 井 江	10a 当り 300 円	

※国営造成施設管理体制支援事業の支援額の一部を経常賦課金に充当する事とし 10a 当たり **520 円を減額** して徴収するものとします。

※北海地区については、積立金対応により **200 円減額**。（平成 23 年度以降の加入・地区編入を除く）

※南岩見沢地区については、積立金にて対応。

賦課金の納期納入にご協力を！

平成 24 年度賦課金の徴収期日は、下記の通りとなります。納期までに納入して下さい。

◎第 1 期 **6 月 15 日～ 7 月 15 日**（経常賦課金の 70%）

◎第 2 期 **10 月 15 日～ 11 月 15 日**（〃 30% 及び特別賦課金）

賦課金納入等についての問い合わせは、**賦課調整課・各事業所** をお願いします。

平成24年度の農地転用決済金

決済金は土地改良区に賦課金を納めている土地を水田以外の目的に使用する場合は地区除外の申請をする事になっております。その時に納めていただく事となる金額です。

決済金とは

- ①土地改良事業により、土地改良区が負担する事になっている負担金
- ②事業負担金の内、借入れをしている分の償還金
- ③土地改良施設の維持管理費の面積減少分（基準維持管理費の20年分）を合計したものです。

但し、条件により下記減免措置が適用されます。詳細内容についてはお問い合わせ願います。

決済金に係る地区別一覧表

(10a/円)

地区名	区 域	決済金	減 免 措 置			
			土 地 改 良 施 設 敷 地	組 合 員 の 営 農 に 要 する 敷 地	一 般 畑 に 用 途 変 更 する 場 合	農 業 団 体 が 必 要 と する 敷 地
			農 業 用 用 排 水 路 ・ 揚 水 機 場 ・ 農 道	自 己 の 宅 地 ・ 倉 庫 ・ 堆 肥 場 ・ 農 道 用 排 水 路 ・ 防 風 林 ・ 水 稲 苗 畑	農 振 内 一 般 畑	事 務 所 ・ 倉 庫 ・ 水 稲 育 苗 施 設 ・ 資 材 置 場 ・ ラ イ ス セ ン タ ー
北 海	全 地 区	128,760	0	27,200	62,740	77,980
中 村	全 地 区	128,650	0	27,090	62,630	77,870
三 笠	前田、小野、 鈴 木 の 沢	158,730	0	57,170	92,710	107,950
	そ の 他	101,560	0	0	35,540	50,780
岩 見 沢	全 地 区	143,360	0	41,800	77,340	92,580
南岩見沢	全 地 区	114,240	0	12,680	48,220	63,460
栗 沢	全 地 区	132,600	0	31,040	66,580	81,820
東 栗 沢	全 地 区	101,560	0	0	35,540	50,780
奈 井 江	全 地 区	114,240	0	12,680	48,220	63,460

尚、次の事項に該当する場合は、上記決済金とは別に精算をすることになります。

1. 当該年度賦課金（1期・2期）
2. 過年度賦課金の未納額
3. 国営事業負担残元金（事業完了地区分）
4. 償還残元金（個人別負担分）
5. 農地転用特別決済金（補助金返還）
6. その他協議により負担をする事となった場合の金額

《地区除外決済金の取扱いについて》

- ◎地区除外により畦畔等の移動があり田区の面積が減になった場合は、田区の減になった面積に単価を乗じて決済金を算出します。
- ◎地区除外により畦畔等の移動がなく、田区の面積に変更がなかった場合は、決済金は納めないで地区除外とし賦課面積の変更もないものとします。
- ◎田面積の変更等については、地区除外申請時に聴き取りをします。

（変更の手続きは、**賦課調整課、各事業所**にてお願いします。）

平成24年度の主な事業

1. 国営土地改良事業

(単位：千円)

事業名	地区名	事業費	主たる事業量（当区関連）
かんがい排水事業（基幹）	道央用水（二期）	5,500,000	提体工コンクリート打設、取水施設工（工場製作・据付）～一式 仮設備工～一式、測量試験費等～一式
かんがい排水事業（一般・基幹）	道央用水（三期）	2,220,000	道央注水工 測量試験費、用地買収及び補償費等～一式
かんがい排水事業（基幹）	北海（一期）	2,302,000	用水路工、調査設計等～一式 北海幹線用水路
農用地再編整備事業（H24着工）	美唄茶志内	200,000	区画整理 A = 1,372ha 農地造成 A = 6ha
農用地再編整備事業（H20～24調査予定）	美唄	—	区画整理 A = 1,617ha 農地造成 A = 5ha
計	5	10,222,000	

2. 道営土地改良事業

事業名	地区数	事業費	地区名
基幹水利施設ストックマネジメント事業	3	48,400	北村・（保全計画策定～二幹川第1、三号川）
ため池等整備事業	2	449,401	栗部・岩幌中
広域農業用水適正管理対策事業	2	99,000	奈井江・（調査計画～美唄）
地域水田農業支援緊急整備事業	1	90,840	南幌
経営体育成基盤整備事業	28	7,445,669	高島南・高島北・宮村・厳島・沼の内・中美唄・峰岩・西川中大願東・大願西・大願南・川向・幌向・上幌向・金子・大沼 新赤川南・新赤川東・新赤川北・新赤川西・由良・青葉・晩翠 清幌（調査計画～厳島南・大富第1・大富第2・砂浜西）
計	36	8,133,310	

3. 団体営土地改良事業

事業名	地区数	事業費	地区名
経営体育成促進事業	3	7,400	大願南・新赤川南・新赤川西
国営造成施設管理体制整備促進事業（管理体制整備型）	1	163,686	北海
農業体質強化基盤整備事業	1	90,970	北海
計	5	262,056	

4. 営造物管理費

区分	金額	内訳
頭首工管理費	17,350	補修・保守費 8,550、賃金等 5,450、電気料 2,800、その他 550
貯水池	17,976	補修・保守費 11,850、賃金等 4,596、電気料 780、その他 750
溝路	118,849	補修・保守費 111,670、賃金等 3,804、電気料 1,600、その他 1,775
揚水機	389,723	機電・機場・導水費 65,170、賃金等 70,971、電気料 251,500、その他 2,082
下部交付金・助成金	52,996	分水区運営・支線組合交付金 24,030、支線組合工事助成費 22,966、 電気料助成費 6,000
適正化事業費	185,700	適正化事業 101,400、施設改善対策事業 84,300
拋出金	64,340	適正化事業 39,555、施設改善対策事業 24,785
管理諸費等	30,722	管理諸費 16,416、水土里推進費 4,191、共同管理負担金 10,113、用地確定費 1、 その他 1
計	877,656	

財 産 の 公 表

平成 22 年度 一般会計決算等

収 入

款	決 算 額
1. 賦 課 金	2,272,392,469 円
2. 使 用 料	14,370,670 円
3. 補助金及助成金	774,702,585 円
4. 財 産 収 入	28,514,227 円
5. 受託及び補償金	83,723,674 円
6. 繰 入 金	365,227,825 円
7. 借 入 金	380,998,000 円
8. 諸 収 入	254,489,461 円
9. 換 地 費	0 円
10. 繰 越 金	162,821,781 円
収 入 合 計	4,337,240,692 円

支 出

款	決 算 額
1. 一 般 管 理 費	748,591,027 円
2. 営 造 物 管 理 費	806,624,028 円
3. 土地改良事業費	105,224,715 円
4. 諸税及び負担金	337,998,629 円
5. 繰 出 金	420,827,468 円
6. 償 還 金	1,724,034,915 円
7. 諸 支 出 金	24,511,067 円
8. 換 地 費	0 円
9. 予 備 費	0 円
支 出 合 計	4,167,811,849 円
繰 越 金	169,428,843 円

監 査 報 告

北海土地改良区定款第 23 条及び北海土地改良区監査細則第 10 条 2 項の規定に基づき平成 23 年度第 1 回定期監査を執行し、業務及び財産に関する事項等全般に亘り良好であることを認めます。

平成 23 年 7 月 8 日

総括監事 山 口 勝 利

監 事 白 倉 敏 美

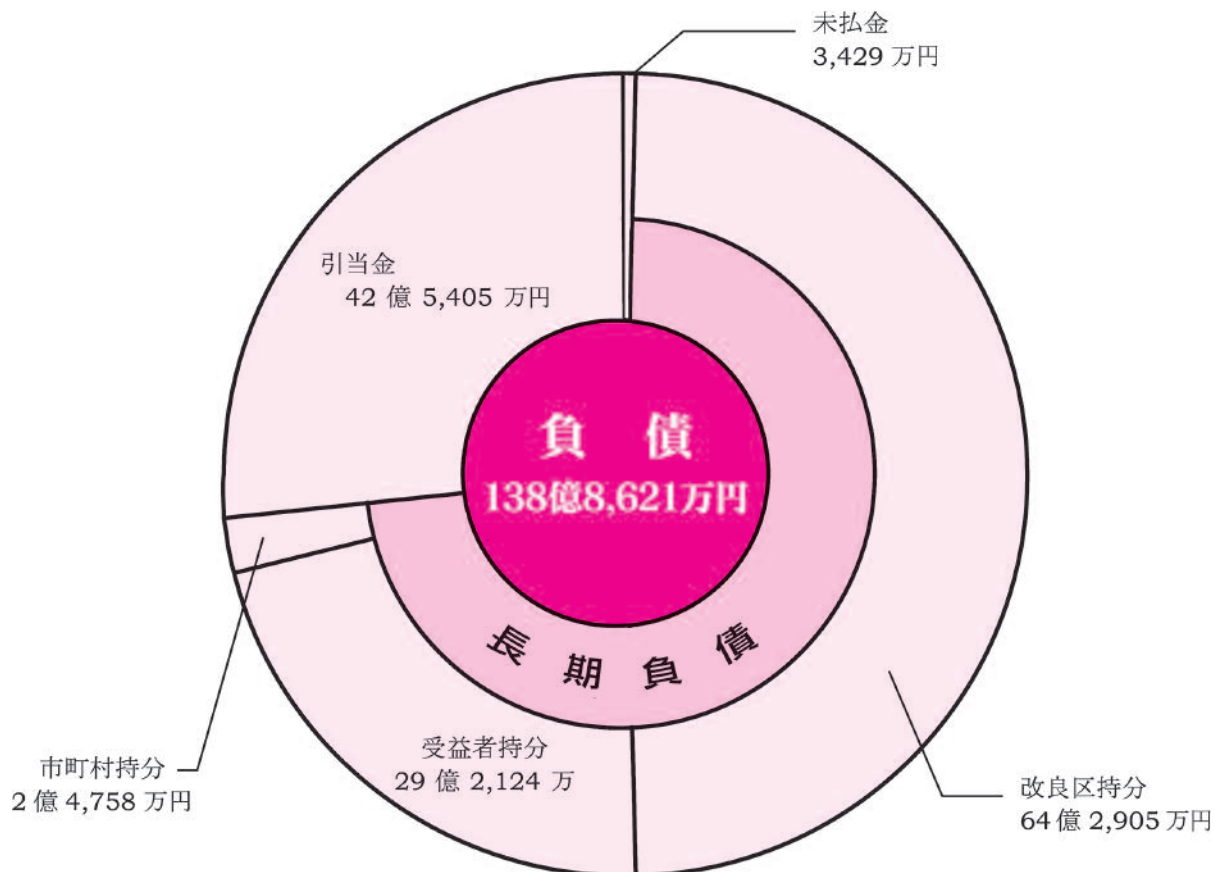
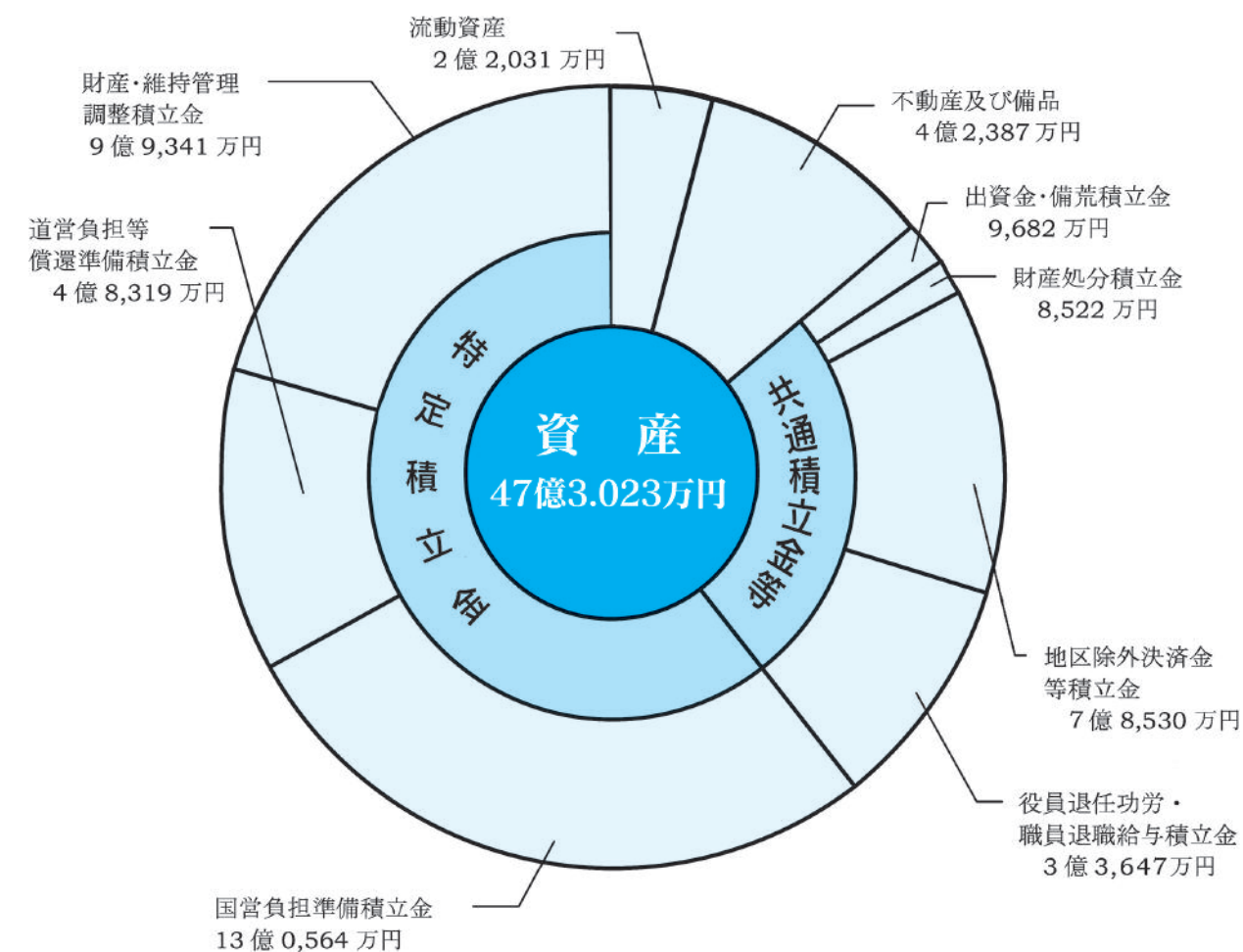
筆頭監事 梶 俊 忠

監 事 村 上 敏 文

監 事 林 孝 友

《財 産》

平成 23 年 5 月 31 日現在



第16期総代名簿

・選挙 平成23年9月27日執行

・任期 平成27年10月9日迄の4年間

第四次中期計画による総代選挙区の改正
(18選挙区→5選挙区に変更)後、初の選挙が
執行され左記の通り決定した。

(総代定数一〇六名)

第 1 区 定数 19 名																			選挙区
赤平市、砂川市、奈井江町、美瑛市の一部																			
杉野彰仁	和島重雅	林昭次	高橋敬治	今田邦彦	菊地一志	大井孝市	五十嵐敏春	仲丸茂廣	和泉貴士	萬孝志	林博美	高柳修一	(株)小林農園	武藤和實	中村吉宏	菊地匡博	垣野芳博	橋本勉	氏名
新	新	再	再	再	新	新	再	再	新	再	再	新	再	新	新	新	再	再	
美瑛第 1							砂川第 2						砂川第 1					分水区	

第 2 区 定数 28 名																										選挙区		
美唄市、月形町、岩見沢市の一部、三笠市の一部																												
谷口護	宮本博	星野美	(有)福良農場	野文明	紺野公人	茂内弘	林和義	土田崇司	安部隆信	秋山善孝	土屋信博	(有)杉本農場	奥山陽一	野康晴	永谷聡志	佐藤昇博	佐々木勝市	落井清和	大槻政進	安達明彦	矢萩和彦	水上和彦	牧野農園(有)	竹内剛弘	鈴木義美	新吾勝美	伊藤裕晃	氏名
新	新	新	再	再	再	再	新	再	新	再	再	再	再	新	再	再	再	再	再	再	再	再	再	新	新	新	新	
岩見沢第 1						美唄第 4						美唄第 3						美唄第 2						分水区				

第3区 定数21名																				選挙区	
岩見沢市部、三笠市の一部																					
村 橋 敏 文	川 崎 雅 実	井 澤 俊 博	池 田 一 幸	池 田 明 博	永 桶 建 弘	高 坂 宣 好	齋 藤 修	長 内 浩 司	大 住 克 行	保 科 春 美	富 田 智 志	河 野 一 夫	倉 内 淳	山 本 浩 一	森 一 男	干 場 博 司	澁 谷 豊	齊 藤 宏 行	工 藤 幸 夫	鎌 田 義 彰	氏 名
再	新	新	新	再	再	再	新	再	新	新	再	再	新	新	再	再	再	再	再	再	
岩見沢第5				岩見沢第4					岩見沢第3				岩見沢第2							分 水 区	

第 4 区 定数 23 名																						選挙区	
岩見沢市、江別市の一部、栗山町の一部																							
道	織	浦	春	橋	前	堀	林	(有)	金	長	津	立	野	岩	岩	池	池	平	並	中	笹	高	氏名
下	田	端	木	谷	田	田		東	森	谷	田	藏	尻	崎	崎	田	田	田	松	山	木	塚	
将	由	貞	和	治	健	一	宏	海	孝	川	一	俊	哲	順		和	信		由	幹	昭	憲	再新別
俊	紀	利	昭	男	一	洋		林	之	博	夫	一	男	一	肇	一	一	学	勝	男	博	彦	
新	新	新	再	再	新	新	新	新	再	新	再	再	新	新	新	新	新	新	新	再	再	新	分水区
岩見沢第 9				岩見沢第 8								岩見沢第 7				岩見沢第 6							

第 5 区 定数 15 名															選挙区
岩見沢市の一部、南幌町、江別市の一部															
堂	縄	小	横	牧	橋	葛	渡	中	珍	清	岩	石	(株)	大	氏
坂		澤	谷	野	本	西	辺	村	田	水	倉	川	ア	川	名
嘉	郭	長	勝	博		歳	信	聡	成	春	昭	幸	シ	英	
隆	章	治	美	一	寛	明	光	昭	恭	樹	彦	彦	ル	樹	
再	再	再	再	再	再	新	再	再	新	再	再	新	再	新	再新別
南幌第 3			南幌第 2				南幌第 1								分水区

(敬称略)

面積が変わったらすぐ手続き

農地が減ったり増えたりした時や、耕作者が変わった時はすぐ土地改良区に届出（名義及び地目変更又は地区除外の手続き）をして下さい。

届出がない場合は、そのまま賦課されますので、農業委員会、農業協同組合に手続きを行った際は、ぜひ**土地改良区**にも届出をお願い致します。

なお、**いずれも農業委員会の書面、文筆図等の書類と印鑑を持参**の上、届出をして下さい。

（変更の手続きは、賦課調整課、各事業所へ）

人事通信

《おめでとうございます》

土地改良事業功労表彰

特別功労表彰

参事 今井賢治

昭和五十一年に勤務以来、永年に亘り土地改良区の健全な運営に努めるとともに、地域の要望をとりまとめて各種農業農村整備事業を積極的に推進。本道農業、農村発展に多大な貢献をされ、その功績が認められ平成二十四年三月二十九日、札幌市に於いて特別功労表彰の栄に沿されました。

優良職員表彰

・水士里ネット推進室 副主幹 高道政秀

当区永年勤続表彰

◎二十五年勤続

主事 金野剛之（総務部 賦課調整課 主幹）

◎二十年勤続

主事 斉藤忠義（総務部 総務課 主査）

分水区長・支線組合長の動向

▼分水区長の異動がありましたのでお知らせ致します。今般退任されました分水区長には、これまで改良区にお寄せいただきました数々の厚情に対し深甚なる感謝を申し上げます。

今回新たに選任されました方々には、前任者同様改良区業務運営にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新分水区長

分水区名	退任者	在任期間 (分水区・支線組合)
砂川第1	小林 和人	(分)平成20年～平成24年 (支)平成14年～平成15年 通算9年間
美唄第4	坂本 憲市	(分)平成15年～平成23年 通算8年間
岩見沢第5	喜来 恒夫	(分)平成16年～平成24年 (支)平成3年～平成5年 通算10年間
岩見沢第6	北村 正美	(分)平成23年～平成24年 (支)平成15年～平成24年 通算10年間

▽砂川第1分水区



武藤 和實 新区長

(砂川市西2条北19丁目2番1号)

▽美唄第4分水区



濱本 俊一 新区長

(岩見沢市北村豊正4299)

▽岩見沢第5分水区



市川 裕晃 新区長

(岩見沢市北村美唄達布4301)

▽岩見沢第6分水区



本田 敏和 新区長

(岩見沢市上志文町978)

▼支線組合長の異動がありましたのでお知らせ致します。今般退任されました支線組合長には、これまで改良区にお寄せいただきました数々のご厚情に対し深甚なる感謝を申し上げます。

今回新たに選任されました方々には、前任者同様改良区業務運営にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

支線組合名	退任者	新任者
北美唄	田島 政勝	田村 敏数
茶志内幹線開発	倉本 史朗	橋本 義信
大富	五十嵐 征一	新谷 敏
十九号	須藤 稔	小山 一春
北村南第1	川崎 雅実	今井 作光
北村南第2	古川 昇	駒形 滋
北村南第3	村橋 秀勝	三浦 淳一
北村南第4	石井 泰博	清水 一博
北村南第5	佐藤 隆生	井幡 正嗣
金子	北村 正美	中山 幹男
夕張	鈴木 健二	岡部 洋幸
豊正	石山 勝嘉	永桶 建弘

職員人事異動

退職

▼三月三十一日付（定年退職）

泉 隆（総務部 部長）

花山 一典（技術部 部長）

松田 勝美（技術部 土地改良推進事務所 所長）

平井 勝久（技術部 南幌事業所 所長）

辻 脇 由美子（総務部 総務課 主幹）

▼三月三十一日付（辞職）

原 若葉（総務部 賦課調整課 主事）

▼三月三十一日付（嘱託職員）

若松 光良（技術部 岩見沢事業所 所長）

吉川 隆（技術部 基盤整備課 課長役）

北口 修作（総務部 賦課調整課 調査役）

池田 史晴（技術部 工務課 調査役）

▼二月二十九日付（臨時職員）

小林 紗矢香（技術部 岩見沢事業所）

▼三月三十一日付（臨時職員）

白倉 加奈絵（技術部 南幌事業所）

四月一日付異動発令

▼技術部 岩見沢事業所 所長

中山 勝（技術部 岩見沢事業所 主幹）

▼技術部基盤整備課長

羽広 昭一（技術部 岩見沢事業所 主幹）

▼総務部総務課 主幹

渋谷 誠（総務部 総務課 副主幹）

▼技術部工務課 主幹

高橋 勝徳（技術部 工務課 副主幹）

▼技術部岩見沢事業所 主幹

白川 和典（技術部 岩見沢事業所 副主幹）

▼技術部工務課 主査

川村 真一（技術部 工務課 主任）

▼技術部 岩見沢事業所 主査

菅井 剛紀（技術部 岩見沢事業所 技師）

▼技術部 基盤整備課 主査

繁泉 吉孝（技術部 基盤整備課 技師
美幌市土地改良センター出向）

▼技術部 岩見沢事業所 主査

山田 剛志（いわみざわ土地改良推進事務所
主査）

▼技術部工務課 主任

橋本 千隼（技術部 工務課 技師）

▼総務部 賦課調整課 主事

高瀬 正樹（総務部 総務課 主事）

▼技術部 管理課 技師

大田原 祐輝（水士里ネット推進室 技師）

▼技術部砂川事業所 技師

野田 和秀（技術部 南幌事業所 技師）

▼いわみざわ土地改良推進事務所 技師

山本 雄貴（技術部 砂川事業所 技師）

▼いわみざわ土地改良推進事務所 技師

松本 恭宗（技術部 岩見沢事業所 技師）

四月一日付再任用発令

▼総務部 部長

泉 隆

▼技術部 部長

花山 一典

▼いわみざわ土地改良推進事務所 所長

松田 勝美

▼技術部 南幌事業所

平井 勝久

▼総務部 総務課 調査役

辻 脇 由美子

▼技術部 岩見沢事業所 調査役

若松 光良

新規職員採用

平成二十四年四月一日付で新規採用となりました。

どうぞよろしくお願いいたします。



佐藤 駿
(総務部 総務課 主事補)



奥田 祥吾
(技術部 美唄事業所 技師補)



長谷川 将也
(技術部 岩見沢事業所 技師補)

臨時職員採用

▼技術部 南幌事業所

木村 美里 (四月一日付)

▼技術部 岩見沢事業所

千葉 美聡 (六月一日付)

おくやみ

当区関係者において、左記の方々がご逝去されました。

ここに、生前中当区業務運営にご尽力賜りました事に深く感謝申し上げます。謹んでご冥福をお祈り致します。



◎勲五等瑞宝章・前理事長



佐藤 博氏

平成24年4月19日逝去
(八十九歳)

昭和56年北海道土地改良区理事、同60年専務理事、平成五年理事長に就任、平成13年勇退。通算20年に亘り区運営の発展に寄与。この間、北海道土地連副会長、同空知支部長を始め、道内外の多くの公職を歴任する等、本道農業農村整備事業に貢献された。

◎元役員等

渡邊 登氏 (岩見沢市)

上幌・東栗沢土地改良区
元理事長

(昭和52年～平成8年)
平成23年9月5日 逝去

川端 幸一氏 (奈井江町)

北海道土地改良区 元理事

(昭和56年～平成9年)
平成23年10月26日 逝去

杉中 一男氏 (岩見沢市)

北海道土地改良区 元理事

(平成5年～平成17年)
平成24年2月26日 逝去

北山 實氏 (岩見沢市)

元大富分水区长

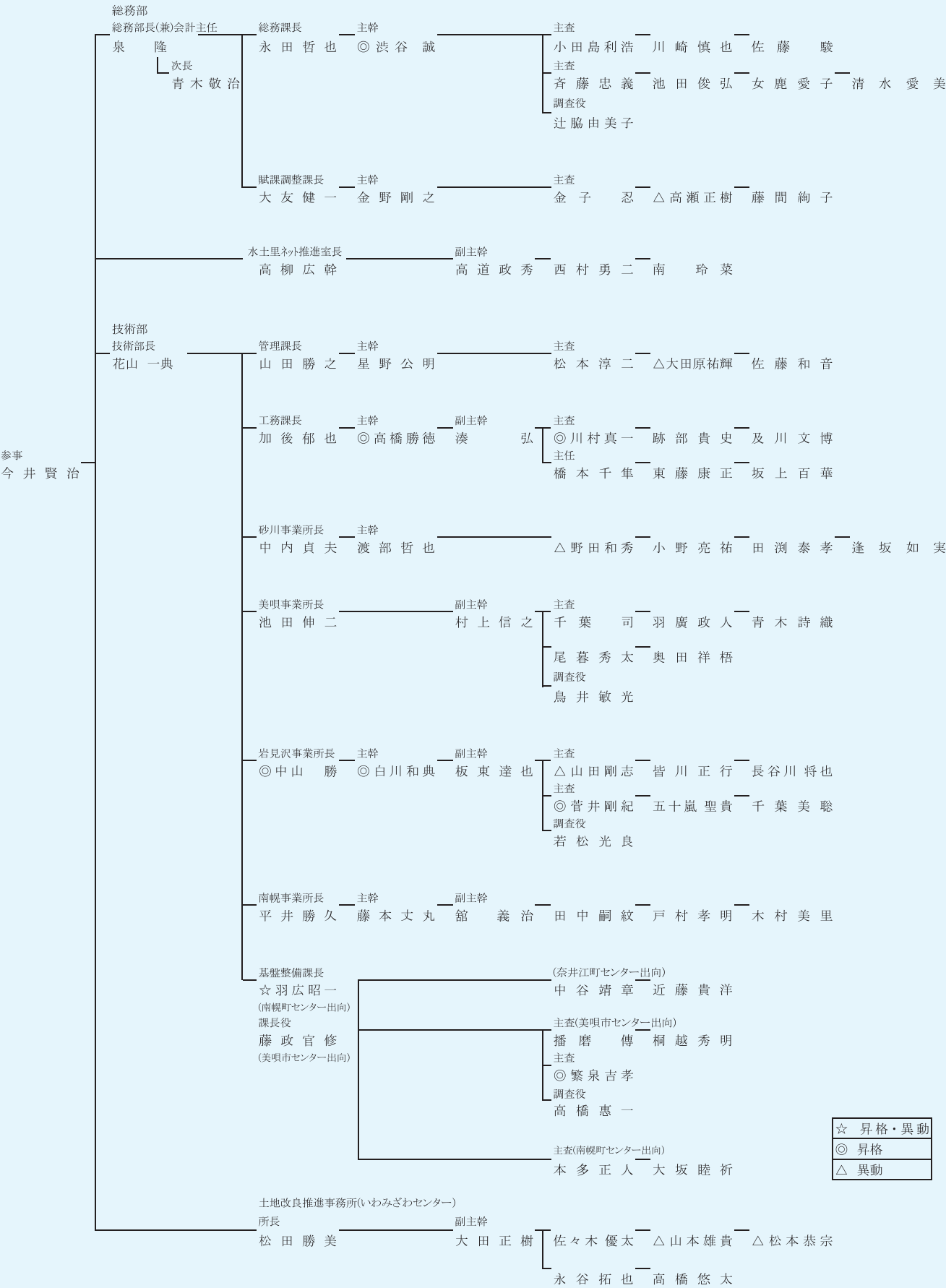
(昭和62年～平成11年)
平成24年1月1日 逝去

小野木 芳一氏 (岩見沢市)

元岡山直分支線組合長

(昭和五十八年～平成五年)
平成24年3月15日 逝去

業務執行体制 (平成 24 年 4 月現在)



☆ 昇格・異動
◎ 昇格
△ 異動

美唄茶志内地区国営農地再編整備事業着手！

～大型汎用田の整備を通じた食糧自給率向上の推進～

美唄地区は、3,000ha として事業着手を目指しておりましたが、平成 22 年度国の農業農村整備事業予算の削減により当初予定より、1 年遅れの平成 24 年度、3 地区分割により美唄茶志内地区が先行し着手されました。

大規模経営をめざす担い手農業者からは、農地の集積、農業機械の作業効率や労働生産性の更なる向上を図る為の圃場の大型化を求める声が多く、今後、残る 2 地区の早期採択に向け強く要望してまいります。

地 区	事業期間	受益面積	関係市町	総事業費	H24事業費
美唄茶志内	H24 ～	1,378ha	美唄市	19,600 百万円	200 百万円

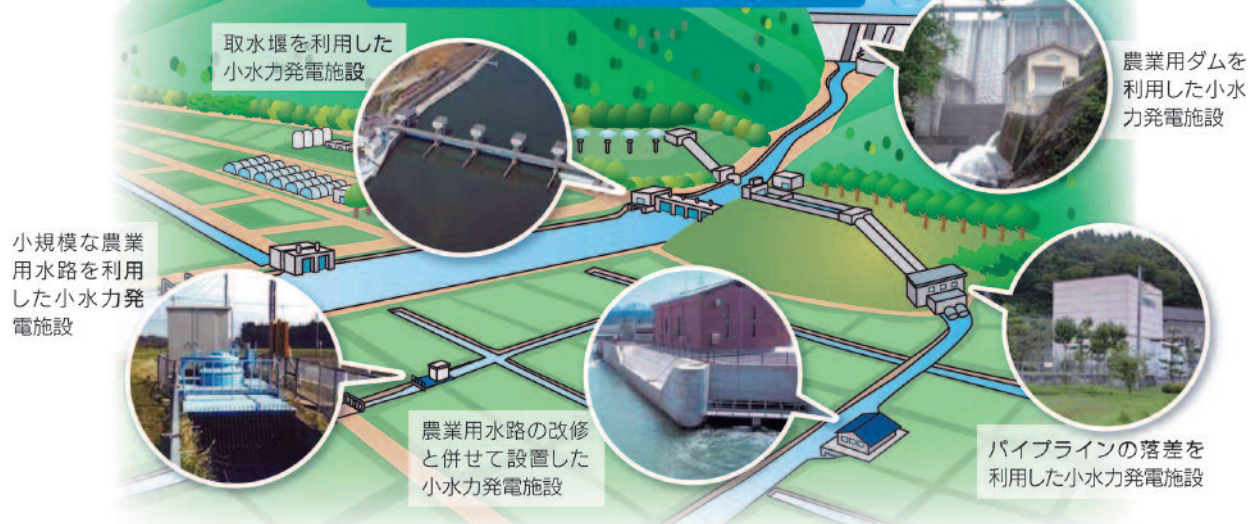
北海地域「小水力発電等検討協議会」設立

国営北海地区土地改良事業推進期成会（会長：眞野 弘北海土地改良区理事長）は、再生エネルギー特別措置法の成立以来、特に注目を集めている農業用水を利用した小水力発電に関する調査研究のため、各指導機関や期成会会員等で構成する「北海地域小水力発電等検討協議会」を平成 24 年 4 月 20 日設立し今後当地域における事業展開の可能性について検討することとした。

小水力発電とは

農業水利施設の落差工等を利用することによって、さまざまな場所で、発電することができます。また、整備時の環境負荷が小さく、発電時には二酸化炭素を発生しない、環境に優しいエネルギーです。

農業用水を利用した小水力発電



記録的大雪到来



例年変動する大陸からの風向きが、この冬は西北西方向で一定。これが原因となり今冬岩見沢方面には絶えず雪が運ばれ42年ぶりに記録を更新する観測史上最深積雪となる208cmの大雪に見舞われました。この大雪で建物の倒壊や交通機関麻痺など生活にも支障をきたし、ついには自衛隊が災害派遣される事態に。

岩見沢市の雪害被害額は6億7千万円に上り、その内農業関連施設の損壊による被害額が2億7千万円。実に総額の4割を占めることとなった。また積雪で春の農作業が遅れるなど記録的大雪は管内農業にも甚大な被害を与えた。

豪雪等に対する

水利施設対策会議開催

施設被害 超える

58,000千円

当区としては3月2日に第1回対策会議を開催。雪による土地改良施設の被害状況把握、通水に向けての今後の対策等についての検討を行いました。また、4月16日には2回目の対策会議を実施。雪解けが進むにつれ明るみになった更なる被害状況把握と対策、通水日程及び通水量についての検討を行いました。

大雪による土地改良施設の被害状況は6月1日現在、予防対策費（雪割り、融雪剤散布等）8,344千円、被害対策費（用水路・機場補修等）50,268千円。計58,612千円となっています。また、雪割り及び融雪剤散布を行いました。また、気温が上がらず融雪が進まないことから北海幹線用水路の通水開始を例年より5日遅い5月6日へと延期。雪害での通水延期は史上初のことであり、大雪の爪痕は通水を開始した後も増え続けています。



平成23年度 当区管内地域での交流活動



H23.6.9



H23.10.4

赤平市〈小学生との田んぼ体験活動〉赤平アジサイロード会



H23.8.18



H23.10.4

砂川市〈小学生や消費者協会への施設見学会〉



H23.7.24



H23.7.24

美瑛市〈第6回北海幹線用水路ウォーキング〉



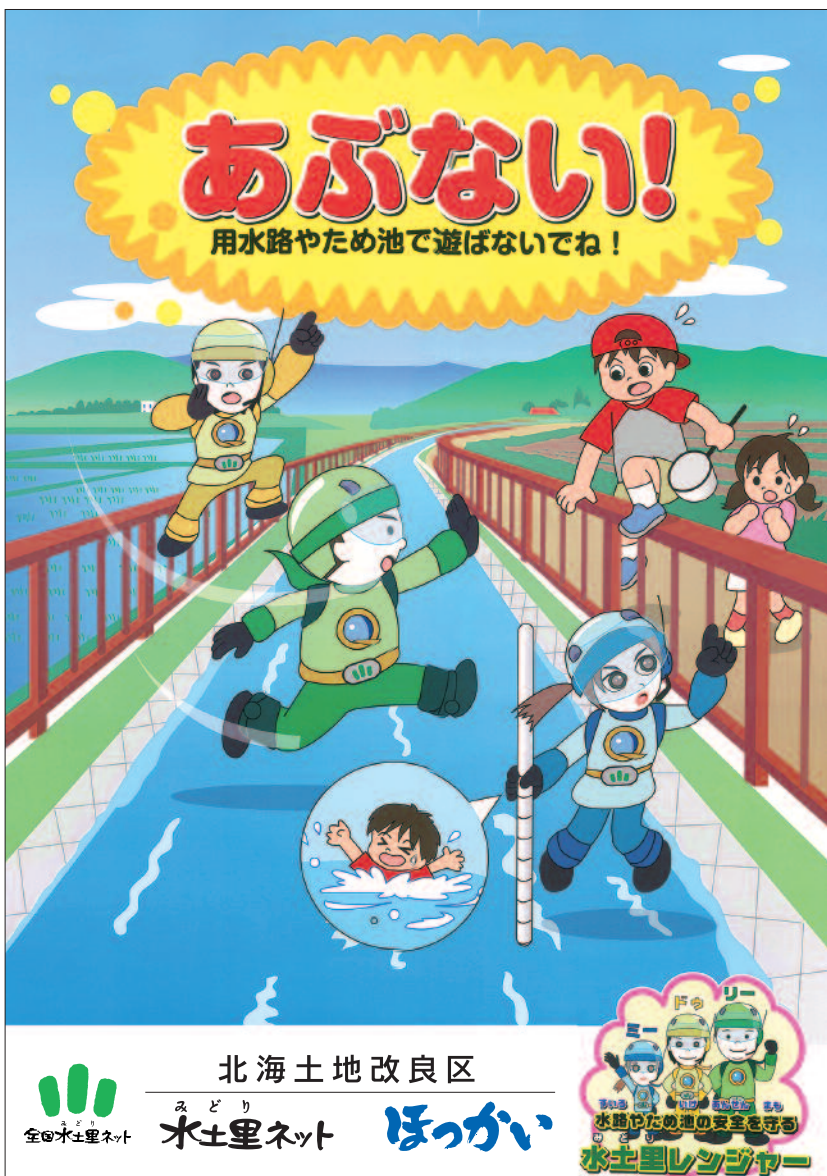
H23.5.30

岩見沢市東町〈植樹活動〉



H23.8.6

第3回軽トラ市 岩見沢事務所駐車場



用水路への 転落事故防止について

今年も五月初旬から八月下旬まで当区の用水路には、たくさんの方が流れ、幼児・児童にとつては大変危険な時期となります。

昨年は、皆様のご協力により事故はありませんでしたが、今年も空知総合振興局と連携をとりながらの広報車による啓発、ポスターの掲示、風船、パンフレットの配布、防護柵、看板等の

整備、設置を行い転落事故を未然に防ぐべく活動を行って参りますので、組合員の皆様におかれましても幼児・児童が用水路の付近で遊んでいるところを見かけましたら一言「あぶないよ」と声をかけていただきたくご協力願います。

★今年の主な活動

ポスター	一八〇枚	掲示
風船	七二〇〇個	配布
パンフレット	六〇〇〇枚	配布
救難用ロープ	一五三か所	設置

事故防止啓発ポスター

(幼稚園、小学校、他公共施設等に掲示)

☆用水路、及び用地内に

ゴミを捨てないで!

五月の通水開始にあたり、用水路の整備点検を毎年行っておりますが、用水路の中は例年のごとく家庭用のゴミ、稲株、空き缶等や大型ゴミが投棄されている状況にあります。尚、揚水機場・各取水施設等も同様です。

これが原因で通水に支障をきたすばかりでなく小さなお子さんには遊び場所にもなり大変危険ですので、ゴミ、稲株等は所定の場所にお願致します。



「雪解け後 通水前の幹線様子」